

平成25年(2013)の正五九参り特別祈祷  
 ◎正月 1月27日(日曜日)午前10時より  
 ◎五月 5月26日(日曜日) 同  
 ◎九月 9月22日(日曜日) 同

岩津天満宮は古くから正月五月九月に大祭りを執り行つて参りました。正五九とは、陰暦の正月・五月・九月のことで、災厄を避けるために神仏に参詣しお祓いを受ける月とされてきました。これを「正五九参り」と言い、特に御利益の大きなお参りとされてきたのです。

多くの皆様の願いを御祭神へのお取り次ぎの祈り「ご祈禱」を執り行つてきた岩津天満宮では、祈りの社として御社殿と御神威の魅りを機に、岩津の天神さまの恩顧を更に多くの皆さまに蒙つて頂きたく、この「正五九(しょうごく)参り」を復活いたしました。

どうぞ天神様の御神威が更に高まる正月・五月・九月のご縁日(天神様の日、二十五日に近い当日)、岩津の

### 祈りの社 岩津天満宮

歴代上人に引き継がれ、三河や尾張を広く布教されました。

さらに明治時代の服部長七翁と大阿闍梨鑊禪師の出会い、当宮に越中立山の山岳信仰の影響を色濃く残したのです。

こうした当宮の歴史を改めて紐解くと、岩津の天神様を崇敬する様々な人々と歴代宮司の努力によって、当宮独特の御神徳が形作られて来た事が分かります。



# 岩津の天神様のちから強く高まる正月、五月、九月 正五九参り しょうごくまいり

### 聖なる地に鎮座

岩津天満宮が鎮座する天神山周辺は、古代の古墳が多く点在します。これは、天神山が聖なる場所であることを示しています。

そして、熱田神宮と三河二宮 砥鹿神社奥宮を結ぶ線上に岩津天満宮が有ります。両宮の御神威が岩津の天神様に注がれていることを物語っています。

さらに明治時代、火災によって荒廃していた岩津天満宮を再興することになった、越中(今の富山県)立山 芦峯寺、大阿闍梨鑊禪師と服部長七翁との出会いも、この聖なる地の力の成せるわざでもありました。

### いまにいたる 信仰の足跡

その昔、岩津天満宮では「正五九参り」を執り行っていました。

岩津天満宮の創建は、江戸時代、岩津山信光寺の一誉上人が鎌倉・荏柄天神社より天神様の御分霊を頂き、御神託により現在地に社を建立したことに始まります。

上人の岩津天神信仰はまことに篤く、病除けの神様としての信仰は、



平成23年師走 丹塗りも美しく甦った本殿



天神様の更なる御神威を授かるため、正五九参り特別祈祷をお受けください。

### 正五九参り特別祈祷

- ◎午前10時執行の進学祈願大祭のご祈祷は、宮司以下祭員が心をこめて祈ります。
  - ◎終日、進学祈願大祭特別祈祷を執り行います。なお、その他病除けなどのご祈祷も、併せて執り行います。
  - ◎正五九参りのご祈祷を受けられた方は、「鳥居くぐり」をお受けいただけます。
  - ◎正五九参りだけのお下がり(徹下品)をお頒ちいただけます。
  - ◎宮司直筆の絵馬は正五九参りご祈祷をお挙げの方のみのお下がりです。
- その他の日にはお頒ちいたしておりません。

正五九参り特別のお下がり



正五九参りのご祈祷を受けられた方のための「鳥居くぐり」